

令和6年度
岡山大学大学院保健学研究科
博士学位申請要領

●実施方法

●申請手続き

(別紙)

02.岡山大学大学院保健学研究科における博士の学位授与に関する内規

03.様式甲-1～甲-6

04.様式甲-1～甲-6(記入例)

05.主論文の要旨記入例

06.内容要旨作成例

実施方法

事項	取扱要領	関係様式
申請手順	<p>1. 保健学研究科ホームページの在学生・保護者の方, カリキュラム, 学位申請 (https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/for-students/application)を開き, 該当の学位申請書等の様式一式をダウンロードする。</p> <p>2. 指導教員の指導のもと, 定められた様式に沿って必要書類を作成する。論文表紙及び全ての書類において, 論文題目の記載を完全一致させること。</p> <p>1) 学位申請書・・・1部</p> <p>2) 履歴書・・・1部</p> <p>3) 論文目録・・・1部</p> <p>4) 学位論文</p> <p style="padding-left: 20px;">①主論文(別刷り)・・・5部</p> <p style="padding-left: 40px;">・ 共著者承諾書・・・各1部</p> <p style="padding-left: 40px;">・ 主論文の掲載誌・掲載予定証明書・・・1部</p> <p style="padding-left: 40px;">・ 理由書(共著者数が11名以上の場合)・・・1部</p> <p style="padding-left: 20px;">②副論文・・・各5部</p> <p style="padding-left: 40px;">・ 副論文掲載予定証明書※・・・各1部</p> <p style="padding-left: 60px;">※証明書(本紙)又はレター(Eメール等)</p> <p>5) 参考論文・・・各4部</p> <p>6) 主論文の要旨・・・4部</p> <p>7) 内容要旨(主論文, 副論文, 参考論文)・・・15部</p> <p>8) 岡山大学学術成果リポジトリ登録依頼書・・・1部</p> <p>9) 電子媒体ファイル※</p> <p>※ 主論文(掲載前の最終原稿), 主論文の要旨, 副論文(掲載前の最終原稿), 内容要旨(主論文の部分のみ。主論文以外の副論文, 履歴等の部分を含めないこと。)</p> <p>3. 申請者が申請書類受付期間内に教務グループ保健学研究科担当に書類を提出する。電子媒体ファイルは電子メールにて下記メールアドレスに送付する。</p> <p style="padding-left: 20px;">(教務グループ保健学研究科担当メールアドレス)</p> <p style="padding-left: 40px;">ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp</p> <p>4. 主論文の別刷りに相当するものが無い場合は, 印刷して簡易製本したものを提出し, 別刷りは掲載後提出する。</p>	<p>様式 甲-1</p> <p>様式 甲-2</p> <p>様式 甲-3</p> <p>様式 甲-4</p> <p>様式 甲-5</p> <p>様式任意</p> <p style="font-size: small;">(学生の分野, 学生番号, 氏名が明記しており, 指導教員の氏名と印があるもの)</p> <p>様式 甲-6</p>

<p>学位 審 査</p>	<p>1. 学位審査委員会は、次の各号に掲げる審査委員で組織する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 主査1名，副査2名 二 論文の内容及び専攻科目に関係ある教授，准教授又は講師から選出する。 ただし，共著者は除く。 また，必要があるときは，他の研究科（他大学を含む）又は研究所等の教員等を審査委員として加えることができる。 <p>2. 学位審査</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 学位論文を中心として，これに関連する専門分野について筆答又は口頭により行う。 二 審査にあたっては，必要に応じ他の教員の出席を求めることができる。 三 審査は公開とし，保健学研究科学生，保健学科教員は聴講できる。 四 審査は申請者のプレゼンテーション 20 分，質疑応答 25 分の計 45 分を原則とする。
<p>学位 授 与</p>	<p>学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して，審査時期に対応した学位授与日に学位が授与される。</p>

※その他詳細については「岡山大学大学院保健学研究科における博士の学位授与に関する内規」を参照。外国人留学生については，指導教員から詳細な指示を受けること。
International students must receive detailed instructions on application for Doctor's degree examination from your supervisor.

申請手続き

1. 申請資格

岡山大学学位規則第5条第1項の規定により学位の授与を受けようとする者。

岡山大学学位規則第5条第1項

博士の学位は、研究科の博士課程又は博士後期課程を修了した者に授与するものとする。

2. 学位申請の時期

申請書類受付期間	審査時期	学位授与
令和6年 6月10日 ～ 6月14日	令和6年 6月25日 ～ 8月 2日	令和6年 9月25日
令和6年12月 2日 ～12月 6日	令和6年12月24日 ～ 2月 6日	令和7年 3月25日

備考：①学位申請要領は年度により受付期間等が異なるので、必ず学位申請を行う年度のものを使用すること。

②休学中に学位を申請することはできない。また、休学中に学位論文の審査・指導及び最終試験を受けることもできない。

③書類の受付期日は厳守のこと。期限を過ぎた場合は受付できない。

④受付期間は、土曜、日曜日及び祝日は除く。

⑤受付時間：9:00～17:00

3. 申請書類

様式甲-1～6は保健学研究科ホームページのシステム・諸手続、大学院生向け、学位申請など(<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/application/>)で配付。論文表紙及び全ての書類において、論文題目の記載を完全一致させること。

1) 学位申請書 所定用紙(様式 甲-1) 1部

写真(縦5cm×横4cm, カラー・白黒どちらでも可)を貼付すること。

2) 履歴書 所定用紙(様式 甲-2) 1部

3) 論文目録 所定用紙(様式 甲-3) 1部

4) 学位論文

①主論文 5部 (審査委員3, 指導教員1, 学部事務1)

・客観的公正な査読が行われている学術論文誌へ掲載あるいは掲載確定の原著論文。

・別刷りが出来ていない場合、印刷前の最終原稿を印刷し、簡易製本したものを提出し、別刷りが出来次第差し替えを提出すること。ただし、審査後に別刷りが出来上がる場合は、提出は1部で良い。

・共著の場合は学位論文申請者が筆頭者であり、共著者数は内容に見合った数で且つ10名以内が望ましい。申請者を除いた共著者数が11名以上の場合は、理由書(様式任意)を添付すること。(やむを得ず邦文誌の場合は、共著者数は5名以内とする。)

・当該論文を学位論文とすることに対する共著者全員の承諾書(様式 甲-4)を添付すること。承諾書は原則、本紙を提出すること。海外の共著者など、本紙の取得が困難な、やむを得ない事情がある場合は、E-mailでの添付ファイルとしての共著者承諾書を印刷したものの提出も認める。ただしその際は、共著者承諾書の依頼と回答のE-mailのコピー(内容の和訳つきのもの)も同時に提出すること。

・主論文の掲載誌・掲載予定証明書(様式 甲-5)を記入の上、提出すること。

- ・掲載誌は、[Current Contents][Excerpta Medica (EMBASE)][Index Medicus (MEDLINE)]に集録された欧文誌が望ましい。(当該学科紀要、岡山医学会雑誌は博士号学位論文の掲載誌としては不可。ただし、岡山医学会雑誌は審査が通った後に掲載された場合は可。)

②副論文 各5部 (審査委員3, 指導教員1, 学部事務1)

- ・博士号学位論文と密接な関連を有する,あるいはそれを補完する査読のある学術論文誌へ掲載の論文およびそれに準じる論文。
- ・別刷りが出来ていない場合,印刷前の最終原稿を印刷し,簡易製本したものを提出し,別刷りが出来次第差し替えを提出すること。ただし,審査後に別刷りが出来上がる場合は,提出は1部で良い。
- ・副論文掲載予定証明書 各1部
※副論文が掲載予定の場合,掲載予定であることを証明できる文書等(証明書(本紙)又はレター(メール等))を添付のこと。

5)参考論文 各4部 (審査委員3, 指導教員1)

- ・当該分野における査読のある学術論文誌へ掲載の論文およびそれに準じる論文
※副論文,参考論文あわせて,2編以上あることが望ましい。
※外部評価に耐えうるもの,客観性を有するものを求める。

6)主論文の要旨 4部(審査委員3, 事務局1)

- ・活字版。日本語で400字程度(英語220語程度)に納めること(A4版)。
※基本は日本語で書き,日本語が難しい留学生については英語でも可とする。
※主論文の abstract の単なるコピー・翻訳したものではなく,論文全体の内容を規定文字数に合わせ自分の言葉で改めて要約し,よく推敲したものを求める。
-

7) 内容要旨(主論文, 副論文, 参考論文)15部(審査委員選出用12, 審査委員3)

- ・主論文, 副論文, 参考論文等の学位論文全体に関するもの。
- ・活字版。簡易製本し, 日本語で3, 500字程度(英語1, 925語程度)に納めること。内, 主論文に関する記載はA4版3ページ(日本語で3, 000字(英語1, 650語程度), 図表含む)以上とし, 末尾に履歴書(様式任意。様式甲-2を活用しても良い)を添付する(A4版)。
※基本は日本語で書き, 日本語が難しい留学生については英語でも可とする。

8) 岡山大学学術成果リポジトリ登録依頼書(様式甲-6) 1部

- ・岡山大学学術成果リポジトリ登録についての詳細は「(参考)学位規則改正による博士学位論文のインターネット公表について」を確認すること。

9) 電子媒体ファイル

※これらのファイルは法令・規則(学位規則(昭28文部省令第9号)第八条・第九条, 岡山大学学位規則(平16岡大規則第1号)第20条・第21条)に基づき岡山大学学術成果リポジトリ(<https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja>)及び, 国立国会図書館に登録・インターネット上で公開するためのものである。

①主論文<掲載前の最終原稿>

- ・掲載前の最終原稿をPDF化し, ファイル名は「学生番号・氏名(主論文)fulltext」とする。

②副論文<掲載前の最終原稿>

- ・掲載前の最終原稿をPDF化し, ファイル名は「学生番号・氏名(副論文)other1」とする。複数ある場合は, other2, other3・・・とする。

③主論文の要旨

- ・wordファイルで提出。ファイル名は「学生番号・氏名(主論文の要旨)」とする。

④内容要旨<主論文の部分のみ>

- ・内容要旨の内, 主論文の部分のみを抜粋したものをPDF化し提出する。主論文以外の副論文, 参考論文, 履歴書等の部分は不要であるので外すこと。インターネットで公開されるため, 履歴書は必ず外すこと。
- ・ファイル名は「学生番号・氏名(内容要旨抜粋)summary」とする。_____

4. 提出先

・申請書類1)～8)について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当に書類を提出。郵送で届いた申請書類は受理しません。申請者本人が直接持参できない場合は、指導教員を通じて提出すること。

・申請書類9)について

電子メールにて下記メールアドレスに件名を「博士学位申請・学生番号・氏名」として送付。
(教務グループ保健学研究科担当メールアドレス) ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp

5. 留意事項

- ・休学をしたことがある者は、その旨必ず申し出ること。なお、休学中に学位を申請することは出来ない。また、休学中に学位論文の審査・指導及び最終試験を受けることもできない。
- ・学位申請をする者は、申請までに必ず授業料を納めておくこと。
- ・申請書類に記載された個人情報については、学位審査及び事務連絡に使用します。

ただし、学位を授与された者に係る個人情報は、法令・規則(学位規則(昭28文部省令第9号)、岡山大学学位規則(平16岡大規則第1号))に基づき報告及び公表し、当該論文及び要旨等については、学位授与後、インターネット公表されます。

※岡山医学会雑誌への掲載手順について

- ①著者は、投稿時、論文原稿に「学位申請論文」であることを明記し、印刷に回さないように依頼する。
- ②学位審査委員から指摘された問題点は、著者が納得の上、審査委員と相談しながら可能な限り修正する。保健学研究科教授会で学位審査に合格した場合、審査委員長が承認修正論文を岡山医学会雑誌編集部に提出し、印刷に回してもらうよう依頼する。
- ③学位審査に合格しなかった論文については、審査委員は何らの責任を負わず、著者は何らの義務を負わない。

学位規則改正による博士学位論文の インターネット公表について

平成25年4月1日付け学位規則改正により、博士学位論文全文の公表について、これまでの印刷公表に代えてインターネット公表により行うことになりました。

インターネット公表は授与大学の協力を得て行うこととなっており、岡山大学では「岡山大学学術成果リポジトリ」での公表となります。

また、国立国会図書館でも全文データを保管し原則インターネットで公開します。

岡山大学学術成果リポジトリとは？ <https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/page/thesis>

岡山大学学術成果リポジトリは、岡山大学の研究・教育成果を蓄積・発信する全文データベースです。岡山大学に所属(過去に所属された方含む)の教職員・学生の方の研究・教育成果物を対象に登録し、インターネット上で無料公開しています。

例外について

やむを得ない事由で授与後1年以内に公表できない場合は大学の承認を受けて全文に代えて要約を公表します。やむを得ない事由としては以下のような場合が考えられますが、大学の承認を得ることが必要となります。登録依頼書に理由を明記してください。ただし、承認された場合もやむを得ない事由が解消した場合は公表が求められます。国立国会図書館の公開についても同様の扱いとなります。

また、やむを得ない事由があると承認された場合も、求めに応じて大学および国立国会図書館が閲覧に供します。

- ・ 著作権や個人情報に関わる制約がある場合
- ・ 特許の申請に関わる場合
- ・ 出版刊行、雑誌投稿を予定している場合 など

※ 図書館で出版者の著作権を確認した結果、本文のリポジトリでの公表が1年以内にできない場合も、本文に代えて要約を公開します。

登録に必要なもの

次のものを各研究科教務担当へご提出ください。(登録は図書館で行います。)

- ① 岡山大学学術成果リポジトリ登録依頼書
- ② 学位論文全文データ
- ③ 要約(※)データ ※呼称は各研究科で異なる

なお、提出にあたっては、注意事項をよくお読みください。締切については各教務担当へご確認ください。

図書館での登録の流れ

- ① 登録依頼書の確認
- ② 学術雑誌等掲載論文の場合は、出版社等との権利関係・著作権上の問題がないかどうかを調査
- ③ 岡山大学学術成果リポジトリへ登録・公開

提出にあたっての注意事項

提出データについて

- データの内容は博士學位論文として冊子で提出したものと同一にしてください。
- 學術雑誌掲載論文の場合は、**著者最終原稿(※)**を提出してください。
- 原則としてデータはPDFで提出してください。ただし無理な場合はWordなど他の形式でも結構です。
- 論文本文データのファイル名はfulltextとしてください。副論文その他データはother(複数ある場合は、other1、other2、...)としてください。
- 要約データのファイル名はsummaryとしてください。
- データには暗号化、パスワード設定、印刷制限等を行わないでください。

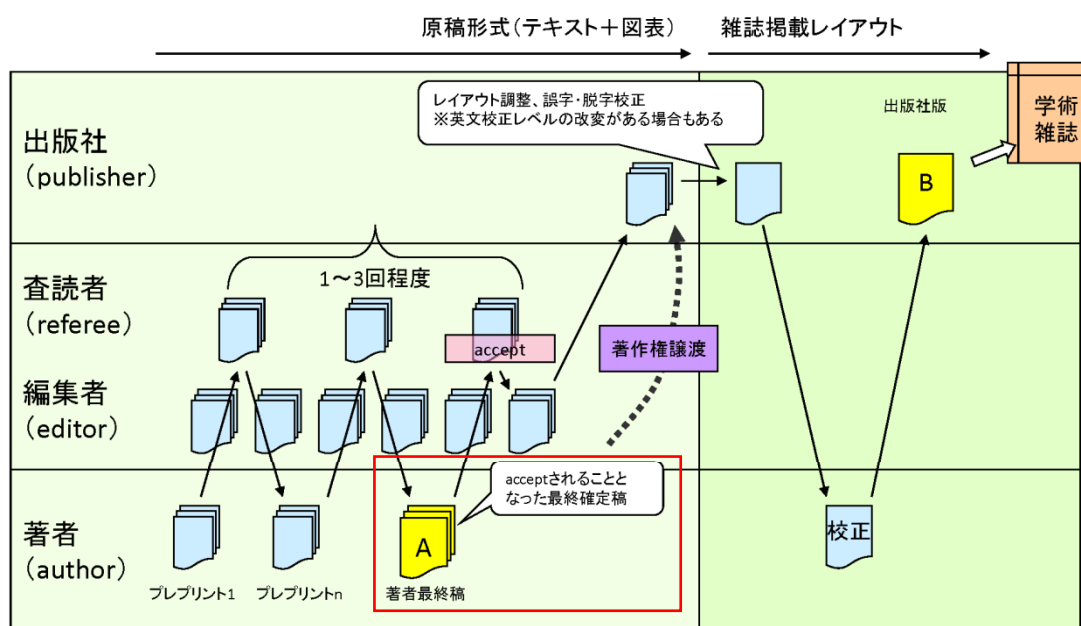
著作権について(主論文の他、副論文、参考論文含む)

- 共同研究者、共著者がいる場合は、事前に全員の許諾を得てください。(學位論文の使用に加え、學位論文としてインターネット公開されることについての許諾も必要です。)
- 論文中に他者の著作物が含まれる場合は、事前にその権利者から許諾を得てください。

その他

- 登録依頼書の提出にあたっては指導教員の確認を得てください。

※ **著者最終原稿**とは(資料:北海道大学図書館作成)



【本件お問い合わせ先】

岡山大学附属図書館 情報管理課 情報整備グループ

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL: 086-251-7315 FAX: 086-251-7314 E-mail: libcat@adm.okayama-u.ac.jp